

// 会社の概要 (2020年5月31日現在)

商号 アルテック株式会社
設立年月日 1976年5月15日
資本金 5,527,829千円
従業員数 138名(グループ全体414名)
所在地 東京都中央区入船二丁目1番1号
住友入船ビル2階

// 役員 (2020年5月31日現在)

代表取締役社長 張 能 徳 博
取締役常務執行役員 阪 口 則 之
取締役常務執行役員 陶 山 秀 彦
取締役常務執行役員 池 谷 壽 繁
取締役執行役員 井 上 賢 志
社外取締役 宮 本 康 廣
社外取締役 荒 井 敏 明
社外取締役 中 尾 光 成
常勤監査役 藤 田 清 貴
社外監査役 石 川 剛
社外監査役 豊 島 絵

執行役員 山 岸 利 光
執行役員 于 勇
執行役員 山 根 清 秋
執行役員 野 上 彰
執行役員 澁 谷 博 規

// 株式の状況 (2020年5月31日現在)

発行可能株式総数 40,000,000株
発行済株式の総数 19,354,596株
株主数 6,172名
大株主

株主名	持株数	持株比率
	株	%
竹内正明	915,000	5.82
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	852,700	5.42
株式会社三菱UFJ銀行	505,920	3.22
関西チューブ株式会社	485,000	3.08
共同印刷株式会社	432,900	2.75
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	392,100	2.49
株式会社アルミネ	391,000	2.49
村永八千代	376,576	2.39
由利和久	350,276	2.23
有賀洋	339,600	2.16

(注) 1. 当社は、自己株式3,625,078株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
2. 持株比率は、自己株式3,625,078株を除いて計算しております。

// 株主メモ

事業年度
定時株主総会
期末配当金受領株主確定日
中間配当金受領株主確定日
株主名簿管理人
(特別口座の口座管理機関)
同連絡先
(郵便物送付先)

毎年12月1日から翌年11月30日まで
2月
11月30日
5月31日(中間配当を実施する場合)
三菱UFJ信託銀行株式会社

〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711(通話料無料)
電子公告により当社のホームページ
(<https://www.altech.co.jp/>)に掲載します。
ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告が
できない場合は、日本経済新聞に掲載します。

公告の方法

(ご注意)

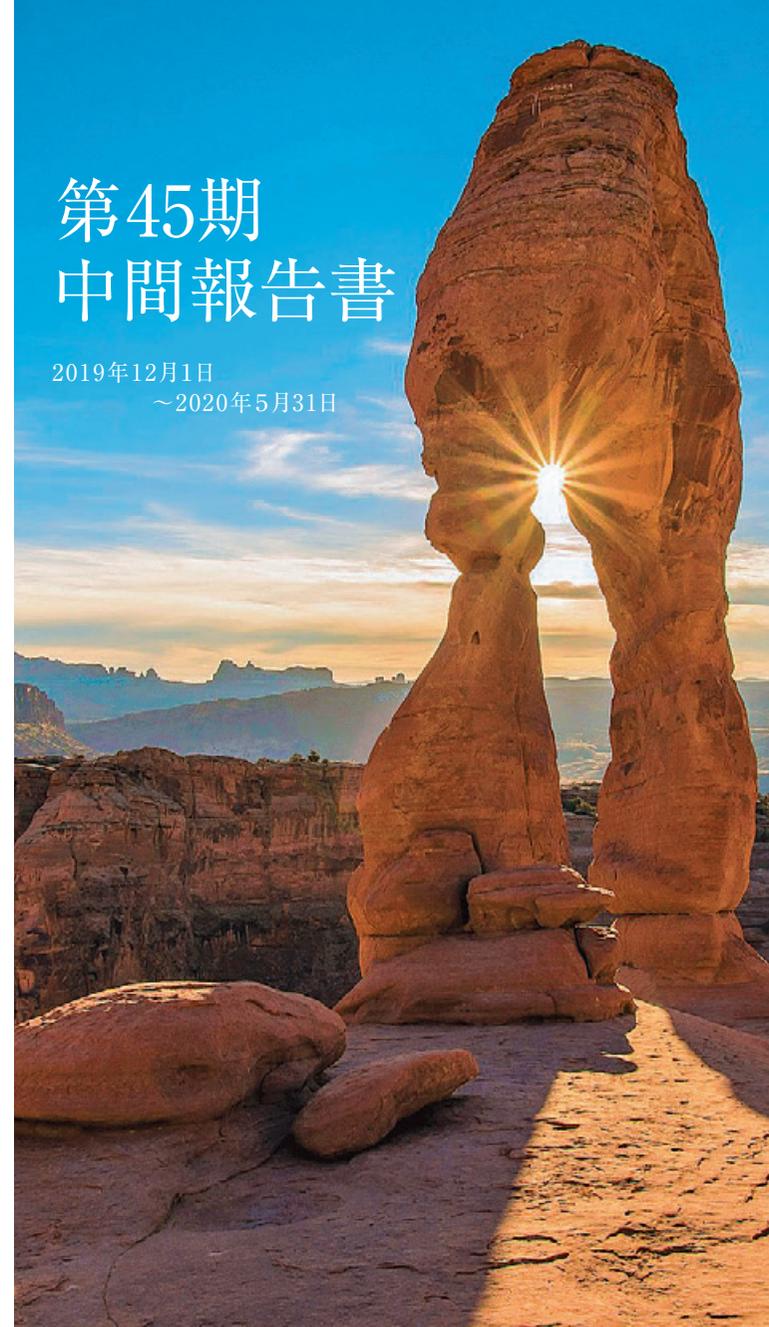
- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



この冊子は環境への配慮のため、FSC®森林認証紙と植物油インキを使用しています。

第45期 中間報告書

2019年12月1日
~2020年5月31日



ALTECH
アルテック株式会社

証券コード：9972

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第45期第2四半期連結累計期間（2019年12月1日から2020年5月31日まで）のアルテックグループの営業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（2019年12月1日～2020年5月31日）におけるわが国経済は、輸出や生産が弱含みで推移しつつも、各種の経済・金融政策を背景に緩やかな回復基調が続いておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により経済活動が大きく抑制され、個人消費や輸出、生産の減少に加えて、雇用情勢や設備投資も弱含みになる等、極めて厳しい状況で推移しました。また、海外においても、新型コロナウイルス感染症の世界各地での流行により景気は急速に悪化し、今後の先行きも極めて不透明な状況となっております。

当社グループでは、2017年1月に策定した2021年11月期を最終年度とする中期経営計画の達成に向けて、商社事業においては、需要増が見込める既存商権の拡販強化、サービスロボットを中心とする新規商権の開拓強化、ホワイトスペースの攻略強化、プリフォーム事業においては、品質維持および生産性向上、業務効率化への取り組み強化に努めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、海外子会社の一時操業休止、国内外の移動制限に伴う営業活動の停滞等の事業活動への影響が生じました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高6,165百万円（前年同四半期比15.2%減）、営業利益234百万円（前年同四半期比8.6%増）、経常利益270百万円（前年同四半期比17.3%増）となり、中国プリフォーム工場の操業休止期間中の固定費を特別損失として計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益192百万円（前年同四半期比8.9%増）となりました。

（セグメント別）

商社事業につきましては、国内において印刷包装関連機械や物流・ロジスティクス関連機器等の販売が増加したものの、海外子会社において各国政府や地方自治体による規制等により営業活動が大きく制限されたことにより前年同四半期に比べ減収となりましたが、コストコントロールを徹底したことにより増益となりました。

プリフォーム事業につきましては、中国の4工場が現地政府当局の方針により一時操業を停止したほか、外出自粛要請により飲料用プリフォームの販売数量が減少したため前年同四半期に比べ減収となり、生産効率改善に努めたものの赤字幅が拡大いたしました。

引き続き株主の皆様には一層のご支援を賜りますよう、何卒宜しく申し上げます。

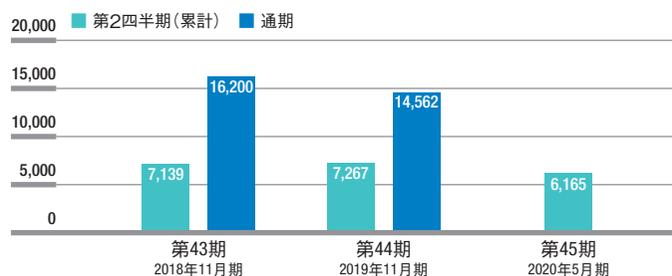


2020年8月
代表取締役社長

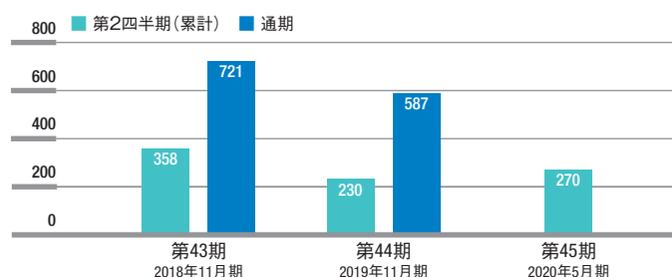
張能 徳博

連結業績ハイライト

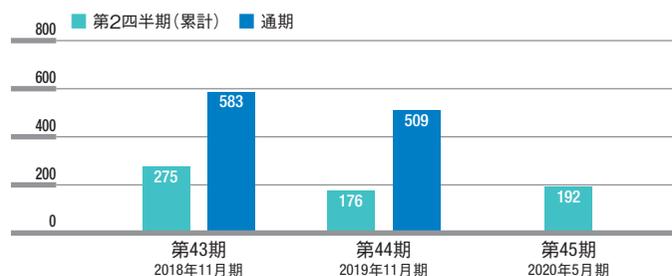
売上高（単位：百万円）



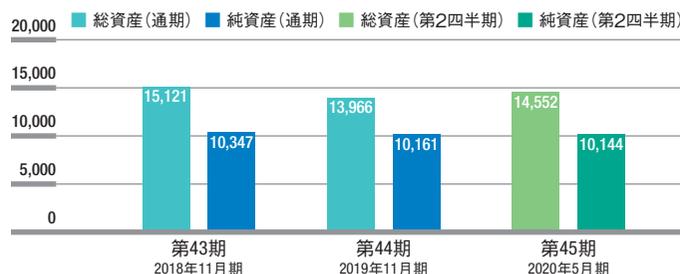
経常利益（単位：百万円）



親会社株主に帰属する当期純利益（単位：百万円）



総資産／純資産（単位：百万円）



トピックス

“持続可能な循環型社会形成の推進への取り組み”

プラスチック加工機の取り扱いやPETボトル用プリフォーム等の製造事業を手掛けている当社グループは、漂流プラスチックやマイクロプラスチック等の海洋ゴミ問題が、地球規模の脅威になりつつあるとの認識が全世界で共有されるなか、資源の循環利用により、限りある天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り低減する取組みの一環として、PET樹脂再生装置の取り扱いを開始し、事業を通じて持続可能な循環型社会の実現に貢献してまいります。

◆PET樹脂再生装置

NGR (Next Generation Recycling machines GmbH) 社が開発したPET樹脂再生装置「P-REACT」は、LSP（液相重合）と呼ばれる独自の方式を採用し、真空・高温下で再生原料（フレーク）から不純物を除去し、高分子化することにより新品樹脂と同等のリサイクルPET樹脂をつくります。これにより衛生面や匂いの問題を解決し（ボトルtoボトル）、資源の循環利用が図れます。



“労働生産性を向上することで人手不足を解消 新型コロナウイルスの感染予防対策として新たな価値を生み出す取組み”

物流センターや製造現場では、少子高齢化による人手不足が深刻化し、労働生産性の向上が喫緊の課題となっております。また、新型コロナウイルスの感染予防対策として、業務の効率化・自動化・柔軟な働き方ができる環境の構築に関心が高まっております。これらの課題を解決し事業に新たな価値を生み出していく取組みとして、当社は、「自律走行型搬送ロボット」や「自律走行フォーク型搬送ロボット」、「自律走行ナビゲーションシステム」等の物流関連の自動化に特化したサービスロボットやシステムを取り揃え、労働生産性の向上に貢献してまいります。



BLUEBOTICS

自律走行ナビゲーションシステム

